

令和6年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進セミナー（運輸部門）
の実施について

<開催日時> 令和7年2月20日（木）10:00～12:00

<開催場所> ジェッダ市内Platso auditorium

<概要>

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2025年2月20日、サウジアラビアと日本の共催で日サウジ自動車技術高等研修所（SJAHI）を対象にPlatso auditoriumにてセミナーを開催しました。

サウジアラビア王国では、貴重な炭化水素資源を活用し、皇太子殿下が発表された「炭素循環経済」アプローチにより2060年にネットゼロを目指すために、エネルギー効率化が重要な政策課題となっています。日本政府は、同王国におけるエネルギー効率化への挑戦を支援するため、エネルギー効率化の多くの分野で同王国と協力を行っております。本ワークショップは、この進展を継続させるため、同王国と日本の専門家が経験を共有し意見交換を行うことで、将来のエネルギー効率化の専門家として同王国の若い世代を育成するとともに、運輸分野におけるエネルギー効率化を推進する新たな戦略を策定することを目的としています。

本ワークショップにおけるテーマは以下の通り。

- (1) サウジアラビアにおける自動車のエネルギー効率向上について（SEEC）
- (2) 省エネルギーの重要性（ECCJ）
- (3) カーボンニュートラルへの移行：自動車セクターの課題と取り組み（JAMA：日本自動車工業会）
- (4) サウジアラビアの若者とハイブリッド車：比較統計分析（SJAHIインストラクター＆学生発表）

SJAHI校長のHattan Hassan Nadra様からの歓迎の挨拶に続き、開会の辞は経済産業省より猪口相様、祝辞は在ジッダ日本国総領事館総領事 山本大介様から頂戴いたしました。

SEECからは、サウジCAFE実施以来王国のLDVの車両平均燃費は28%改善し、SEECは新型LDVを対象に2024年にサウジCAFEフェーズⅢを実施し始めたこと、エネルギー効率に関する国民の意識を高めるため、2015年以降31のメディアキャンペーンを実施してきたこと、購入前の消費者のラベルによる選択と購入後の省エネ行動は燃費に影響を与えること、などについて講演がありました。

ECCJからは、省エネとは何か、具体的な省エネの進め方、Carbon Circular Economy の達成のためには道筋は1つではなくいろいろな方法を合わせて採用する必要がある、その上で自分が今できる事、すぐできる事から始めていくことが重要で学生の皆さんがアンバサダーとなって進めていってほしい旨を伝えました。

JAMAからは、カーボンニュートラル実現に向けた自動車業界の課題として、「部品の製造」から始まり、「廃棄・リサイクルするとき」までのライフサイクル全体でCNを考えなくてはならないこと（＝ライフサイクルアセスメント（LCA）での達成が重要であること）、また、国によってもエネルギー政策が異なり、同じメーカーの車種においても生産する国によってはそのクルマを買ってもらえなくなる可能性がある、目的はCNであり、HV、EV、PHV、FCVやCN燃料を利用した内燃機関等、多様なアプローチがあることなどが挙げられました。また、温室効果ガスを削減し地球温暖化を防ぐためには世界中の皆が一丸となり各地域や環境に対応して多種多様な方法で取り組むことが大事であることが協調されました。

SJAH Iインストラクターと学生からは、ハイブリッド車の特徴・メリット・未来について発表がありました。

その後、Slidoというライブアンケートをとれるアプリを利用して、学生がプレゼン内容を聞き取れているか理解度クイズを実施しました。SEEC、JAMAそれぞれのプレゼンから計6問、「Saudi CAFÉ standard」「Fuel Economy Label」「Driving behavior」「Greenhouse Gas」「Overheating」「Multiple Pathway」など覚えておいてほしいキーワードをリマインドする意味で穴埋め4択で出題しました。アプリにアクセスして回答した161名中、全問正解は25名でした。

Q&Aセッションでは、日本とサウジアラビアは自動車産業のニーズのバランスをとりながら、カーボンニュートラルを推進するためにどういったことをする必要があるか、消費者としてどういった活動を行うことで省エネ化に貢献することができるのか、自動車産業により再生可能エネルギーを導入するためにはどうした施策が必要か、などの質問が会場から出され、活発な議論がなされました。

参加者はSJAH I学生100名、招待者100名、他関係者50名程となり、運輸分野におけるエネルギー利用の効率化の方法について有意義な知見・経験を共有することができました。



SJAH I校長



METI猪口氏



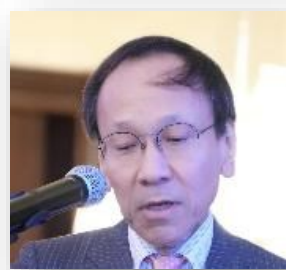
山本総領事



SEEC Alqarni氏



ECCJ須賀井



JAMA岡氏



発表者



Q&Aの様子



SJAH I学生発表の様子



会場の様子